

岡崎市内大型店販売動向調査結果(17店舗) (平成24年11月分)

対前年同月比2.5%減 気温の低下進み、衣料品・家庭用品を中心に好調だったが前年実績には届かず。

岡崎市内の主要百貨店・スーパー17店を対象とした、「大型店販売動向調査」の平成24年11月分の調査結果がまとまった。それによると、販売総額は70億950万円。対前年同月比2.5%減となり2ヶ月連続での減少となった。

部門ごとの結果を見ると「衣料品」は2.7%増、「身の回り品」は9.1%減、「家庭用品」は9.6%増、「雑貨」は5.6%減、「食料品」は0.2%減、「飲食・サービス」は、3.3%減、「その他」は20.9%減となった。

「衣料品」では冬物衣料の販売が活発化し、好調となった。また店舗によっては、前年比10%増との報告もあった。

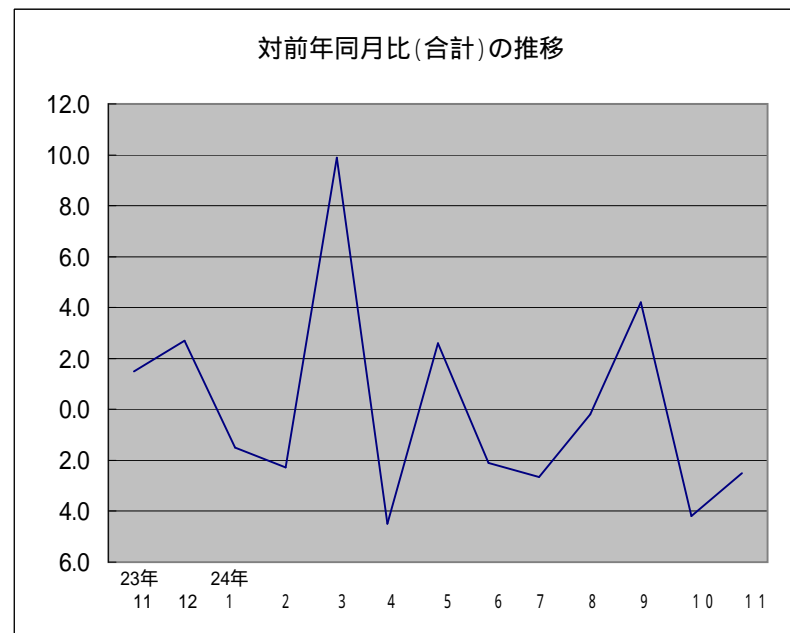
「家庭用品」では、暖房器具などを省エネ商品へ買い替えたため、好調となったと推測される。

「雑貨」や「食料品」では、季節商品であるマスクやうがい薬、白菜、ネギなどの売れ行きは好調であったが、前年の売上を上回るまでにはいかなかった。

11月は、前年比で減少の結果であったが、気温が低下し、前月は苦戦していた「冬物商品」の動きが活性化するなど、一部部門で若干の好転がうかがえた。

< 調査にご協力いただいた、ご担当者さまの“生の声” >

衣料品関係について、バーゲン前の冷え込みにより値下げロスが減少し、単価アップにつながり結果として前年110%台と好調だった。



	衣料品		身の回り品		家庭用品		雑貨		食料品		飲食・サービス		その他		合計	
	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比
平成23年11月	171,671	1.4	45,372	3.4	21,434	11.0	88,943	0.9	260,034	3.2	49,822	13.6	69,488	62.1	706,764	1.5
12月	182,900	6.0	54,576	0.7	24,145	8.1	111,565	3.6	285,848	0.9	59,960	5.0	58,878	42.7	777,872	2.7
平成24年1月	220,868	4.8	55,525	2.0	22,424	20.9	111,351	26.2	318,551	1.3	66,483	2.1	62,562	32.5	857,764	1.5
2月	123,644	1.3	37,217	0.9	17,720	7.9	82,571	4.1	268,028	2.7	53,598	16.5	45,305	20.6	628,083	2.3
3月	158,818	18.0	43,315	7.9	13,728	3.0	92,202	8.3	258,766	0.8	66,907	12.8	60,483	60.8	694,219	9.9
4月	155,019	1.7	42,387	18.6	16,294	5.6	89,124	0.2	253,119	4.5	56,840	7.6	55,258	2.4	668,041	4.5
5月	159,243	9.4	44,301	4.6	18,678	0.6	91,203	5.7	261,511	1.4	66,966	8.2	57,997	4.8	699,899	2.6
6月	149,958	2.9	43,460	6.2	17,968	6.1	85,495	1.5	268,881	0.9	63,518	1.4	53,164	5.3	682,444	2.1
7月	165,876	0.9	49,147	2.3	19,332	11.6	92,403	0.5	263,305	4.0	64,735	2.1	53,406	2.8	708,204	2.7
8月	140,085	8.0	43,795	0.3	18,276	6.7	89,547	5.4	279,810	1.7	71,730	0.5	60,353	12.1	704,366	0.2
9月	129,345	5.0	38,770	1.9	15,214	4.2	73,426	11.5	281,899	4.8	73,547	13.8	61,994	19.3	679,527	4.2
10月	158,094	6.2	39,871	9.2	16,441	10.0	75,497	10.0	260,586	1.3	60,018	0.0	56,716	2.3	667,223	4.2
11月	176,346	2.7	41,236	9.1	23,783	9.6	84,038	5.6	269,747	0.2	57,333	3.3	48,467	20.9	700,950	2.5

【注】1. 販売額の単位は万円。

2. 前年比の単位は%(はマイナス)。

3. 調査対象事業所の異動があるため、前年同月との単純比較はしていません。